

使用開始日:2018年12月19日

アムンディ・リそなアセアン・ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

愛称
メコン
Mekong



- 本書は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書です。この目論見書により行うアムンディ・リそなアセアン・ファンドの受益権の募集については、発行者であるアムンディ・ジャパン株式会社（委託会社）は、同法第5条の規定により有価証券届出書を2018年12月18日に関東財務局長に提出しており、2018年12月19日にその届出の効力が生じております。
- ファンドに関する投資信託説明書（請求目論見書）を含む詳細な情報は下記＜ファンドに関する照会先＞のホームページで閲覧できます。また、本書には信託約款の主な内容が含まれておりますが、信託約款の全文は投資信託説明書（請求目論見書）に掲載されております。
- 投資信託説明書（請求目論見書）については、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。ご請求された場合には、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）に基づいて組成された金融商品であり、商品内容の重大な変更を行う場合には、同法に基づき事前に受益者の意向を確認する手続き等を行います。また、ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産等との分別管理等が義務付けられています。
- ファンドの販売会社、基準価額等については、下記＜ファンドに関する照会先＞までお問合せください。

ファンドの商品分類および属性区分

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	海外	株式	その他資産 (投資信託証券 (株式一般))	年2回	アジア	ファンド・オブ・ファンズ	なし

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) をご覧ください。

■ 委託会社【ファンドの運用の指図を行う者】

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第350号

設立年月日:1971年11月22日
資本金:12億円(2018年9月末現在)
運用する投資信託財産の合計純資産総額:
2兆3,592億円(2018年9月末現在)

■ 受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行う者】

株式会社りそな銀行
(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

■ <ファンドに関する照会先>

アムンディ・ジャパン株式会社
お客様サポートライン 0120-202-900(フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <http://www.amundi.co.jp>

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

ファンドの目的・特色

◎ファンドの目的

ファンドは、主としてアセアン諸国（東南アジア諸国連合）の株式等に投資するファンドと、本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。

◎ファンドの特色

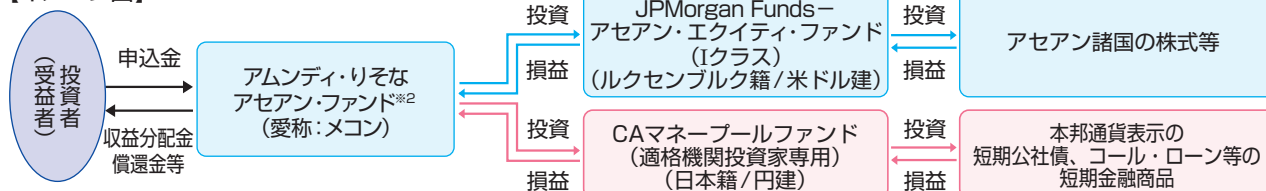
- 1** 主として、アセアン諸国（東南アジア諸国連合）の株式等へ投資するルクセンブルク籍の「JPMorgan Funds－アセアン・エクイティ・ファンド（Iクラス）」（米ドル建）と日本籍の「CAManeerful Fund（適格機関投資家専用）」（円建）に投資します。
- 2** 「JPMorgan Funds－アセアン・エクイティ・ファンド（Iクラス）」の組入比率を原則として、90%以上に保つこととします。
- 3** 原則として、為替ヘッジは行いません。ファンドの基準価額は、主に円対米ドル、米ドル対アセアン諸国の通貨の為替相場の動きにより変動します。
- 4** 「JPMorgan Funds－アセアン・エクイティ・ファンド（Iクラス）」の運用は、アセアン市場の株式運用において豊富な運用経験を有するJPモルガン・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行います。

◎ファンドの仕組み

ファンド・オブ・ファンズ方式^{※1}で運用します。

※1 ファンド・オブ・ファンズとは複数の投資信託証券に投資する投資信託のことをいいます。

【イメージ図】



※2 アムンディ・リソナアセアン・ファンドは、MSCI東南アジアインデックス*を参考指数とします。

*MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しております。

◎主な投資制限

- 株式への直接投資は行いません。
- 外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。



◎分配方針

毎決算時（毎年3月15日および9月15日。休業日の場合は翌営業日とします）に、原則として以下の方針により分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益額が少額の場合には分配を行わないこともあります。したがって、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

<主要投資対象とするファンドの概要>

ファンド名	JPMorgan Funds—アセアン・エクイティ・ファンド (Iクラス)						
ファンドの形態	ルクセンブルク籍会社型投資信託 (米ドル建)						
ファンドの特色	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主としてアセアン諸国 (東南アジア諸国連合) の株式等に投資し、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 2. 純資産総額の3分の2以上は、アセアン諸国に登記簿上の本社を有する、または実質的な事業活動をアセアン諸国 (1カ国あるいは複数国) で展開している企業の株式に投資することを基本とします。また、債券、短期金融資産等に投資することがあります。 3. ヘッジ目的 (価格変動リスク等の回避) あるいは運用の効率化を図るため、金融派生商品を利用することがあります。 						
参考指数	MSCI東南アジアインデックス						
運用プロセス	<div style="text-align: center;"> <p>投資アイデアの創出</p> <p>以下の項目により、投資ユニバースを絞り込み</p> <ul style="list-style-type: none"> • 企業訪問 • ブローカー・アナリスト情報 • 独自リサーチ • 産業構造分析 • 銘柄の流動性 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ファンダメンタル・リサーチ</p> <p>以下の項目により、企業の戦略的特性をプレミアム企業、優良企業、循環的企業に分類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">収益性</th> <th style="width: 33%;">持続性</th> <th style="width: 33%;">ガバナンス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> • 自己資本利益率 • 資本集約度 • 財務の健全性・資金調達力 • 成長性 • キャッシュフロー </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> • ビジネスの強みと持続可能性 • 産業構造と発展 • 革新 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> • マネジメント/所有権リスク • 透明性とアクセス • 株主還元 • 資本構成 </td> </tr> </tbody> </table> <p>• 特性に応じた投資機会の認識と注目材料の評価</p> <p>• 企業見通しは、各国のマクロ環境、政治情勢および産業トレンドの見通しにより補完</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ポートフォリオの構築</p> <p>個別銘柄の投資アイデアに、市場見通しと通貨見通しを融合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 投資銘柄数 70 ~ 100銘柄 • 個別銘柄の投資比率 参考指数±5% • 市場配分 参考指数±15% </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>銘柄ランキング: 5段階評価 (1~5)</p> </div> </div>	収益性	持続性	ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> • 自己資本利益率 • 資本集約度 • 財務の健全性・資金調達力 • 成長性 • キャッシュフロー 	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネスの強みと持続可能性 • 産業構造と発展 • 革新 	<ul style="list-style-type: none"> • マネジメント/所有権リスク • 透明性とアクセス • 株主還元 • 資本構成
収益性	持続性	ガバナンス					
<ul style="list-style-type: none"> • 自己資本利益率 • 資本集約度 • 財務の健全性・資金調達力 • 成長性 • キャッシュフロー 	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネスの強みと持続可能性 • 産業構造と発展 • 革新 	<ul style="list-style-type: none"> • マネジメント/所有権リスク • 透明性とアクセス • 株主還元 • 資本構成 					
投資顧問会社	JPモルガン・アセット・マネジメント (シンガポール) リミテッド* ※アセアン市場の株式運用において豊富な運用経験を有しています。						

ファンド名	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)
ファンドの形態	日本籍契約型投資信託 (円建)
ファンドの特色	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
運用会社	アムンディ・ジャパン株式会社

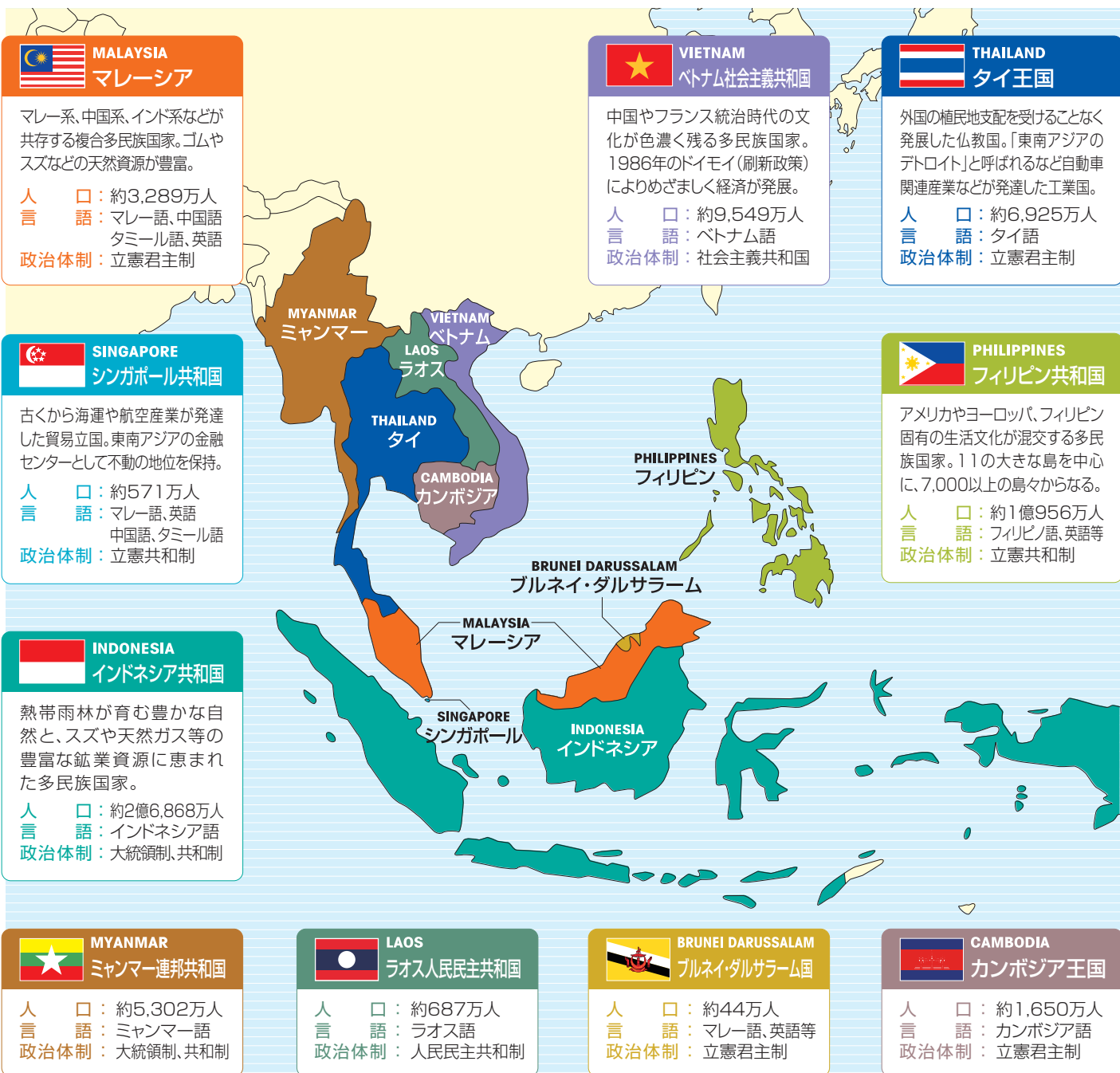
*上記内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

巨大経済圏発足、域内経済発展で成長余地の高い『アセアン』に注目。

2015年12月末、アセアン（東南アジア諸国連合）による域内外の貿易活発化、地域の経済成長の拡大を目的としたアセアン経済共同体（AEC）が発足しました。アジアの一大経済圏として世界からも注目されています。

アセアン加盟 10カ国概要



出所：外務省ホームページ(2018年9月末現在)、国際通貨基金(IMF)「世界経済見通し2018年4月版」のデータを基に、アムンディジャパン株式会社が作成。人口は2019年(予想値)。

* 「JPMorgan Funds-アセアン・エクイティ・ファンド (Iクラス)」は、主としてアセアン諸国に登記簿上の本社を有する、または実質的な事業活動をアセアン諸国(1カ国あるいは複数国)で展開している企業の株式に投資することを基本とします。すべてのアセアン加盟国に投資するとは限りません。

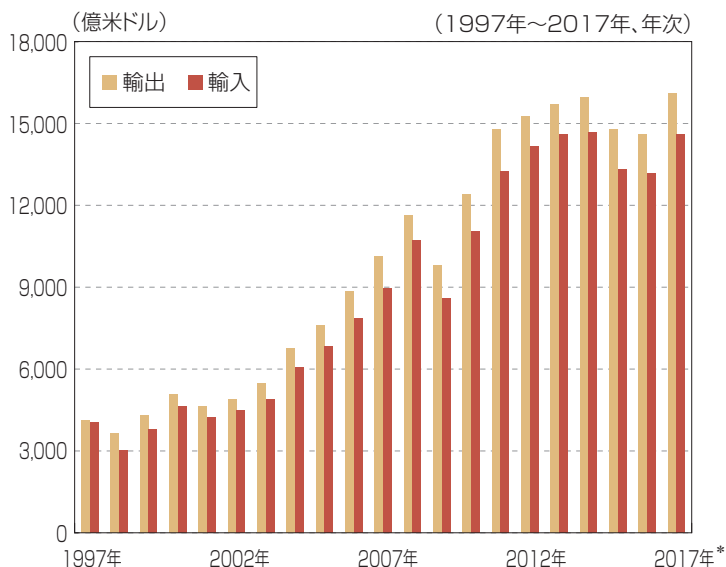
* 上記は過去の実績であり、今後のアセアン諸国の成長性やファンドの将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。
 * 上記内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
 * 当社が信頼性が高いとみなす情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

追加的記載事項

活発化する貿易

- アセアンの貿易額は、過去20年間で大幅に増加しています。

輸出入額^{※1}の推移

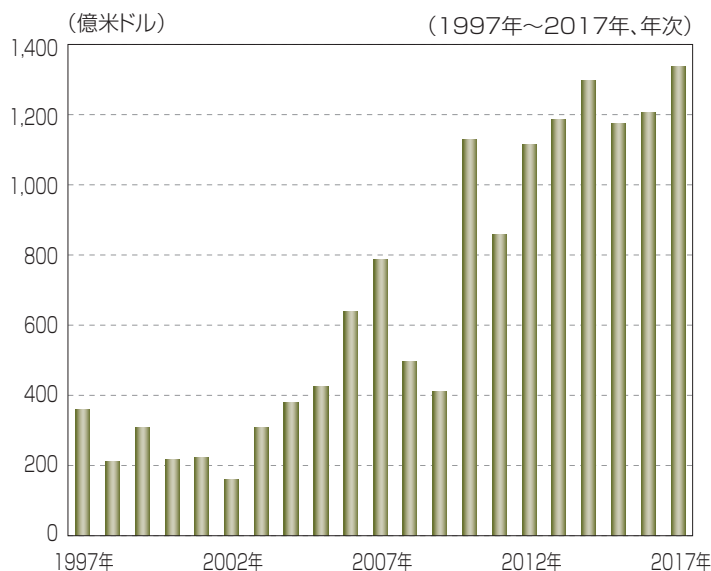


※1 アセアン10カ国の合計額。
 ※2017年各合計額は、ラオスおよびミャンマーが含まれていません。
 出所：国連貿易開発会議（UNCTAD）のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

増加する直接投資

- 低コストで豊富な労働力と消費の拡大が見込まれる魅力的な市場であることから、アセアン各国への直接投資が進んできました。

海外からの直接投資額^{※2}の推移

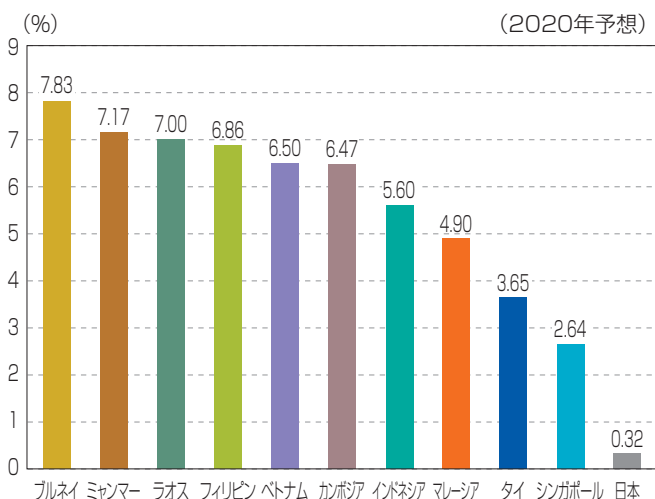


※2 流入ベース。アセアン10カ国の合計額。
 出所：UNCTADのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

今後が期待されるアセアン経済

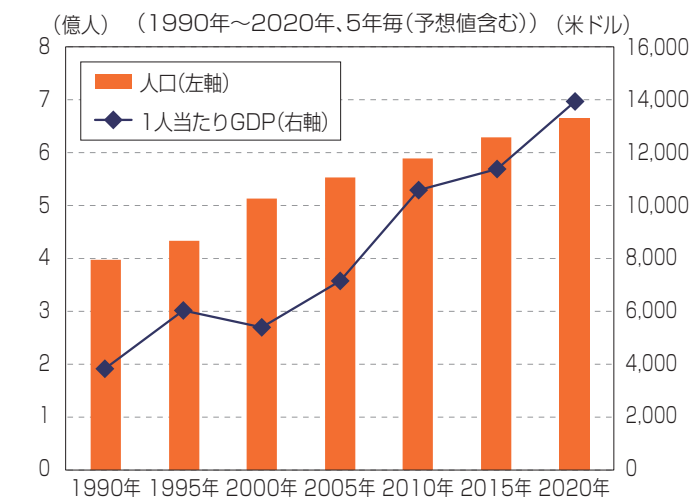
- 「アセアン経済共同体」の設立による相乗効果でアセアンの経済発展が期待されます。
- 人口とともに1人当たりGDPも増加しており、今後の消費の拡大が期待されます。

アセアン各国と日本のGDP成長率



出所：IMF「世界経済見通し2018年4月版」のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

アセアン各国の人口と1人当たりGDPの推移^{※3}



※3 人口はアセアンの人口合計、1人当たりGDPはアセアン10カ国の平均値(いずれもミャンマーは2000年以降)。2020年は予想値(カンボジアは2015年以降)。
 出所：IMF「世界経済見通し2018年4月版」のデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

*** 上記は過去の実績であり、今後のアセアン諸国の成長性やファンドの将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。**
*** 上記内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。**
*** 当社が信頼性が高いとみなす情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。**

◎基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として外国株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

① 価格変動リスク

ファンドの主要投資対象である「JPMorgan Funds－アセアン・エクイティ・ファンド」は、主にアセアン諸国の株式等を投資対象としていますが、株式等の有価証券の価格はその発行体（企業）の経営状況、財務状況、一般的な経済状況や金利、市場の需給等により変動します。したがって、実質的に組入れられた**株式等の有価証券の価格が下落した場合**には、**ファンドの基準価額は下落し、損失を被り投資元本を割込むことがあります**。

② アセアン諸国の株式等への投資に関するリスク（カントリーリスク）

ファンドの主要投資対象である「JPMorgan Funds－アセアン・エクイティ・ファンド」が投資対象とする株式等の有価証券の発行体（企業）が所在する諸国の経済状況は、先進主要国に比べて脆弱である可能性があります。そのため、インフレ、国際収支、外貨準備高の悪化、政治不安や社会不安あるいは他国との外交関係の悪化などが株式市場や為替市場に及ぼす影響は先進主要国以上に大きくなることが予想されます。また、当該諸国の証券市場は市場規模や取引量が小さく流動性が低いことから、流動性、価格変動性等のリスクは相対的に高くなる傾向があります。当該国の政変、経済事情の変化等により市場が混乱した場合や、政府当局により有価証券取引に対して新たな規制が導入された場合等には、証券市場が大きな影響を受け、ファンドの基準価額も大きく変動する可能性があります。したがって、**ファンドの基準価額は先進主要国の市場へ投資しているファンドと比較して大きく下落する可能性があり、損失を被り投資元本を割込むことがあります**。

③ 為替変動リスク

ファンドは、円建で基準価額が表示される国内投信ですが、主要投資対象であるルクセンブルク籍の投資信託証券は外貨建であり、原則として為替ヘッジは行いません。したがって、ファンドの基準価額は、主に円対米ドル、米ドル対アセアン諸国の通貨の為替相場の動きにより変動します。**円高となった場合、投資する外貨建資産の円貨建価値が下落し、ファンドの基準価額の下落要因となり、損失を被り投資元本を割込むことがあります**。

◆基準価額の変動要因（投資リスク）は上記に限定されるものではありません。

◎その他の留意点

1. 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

2. 株価連動債券に関する留意点

「JPMorgan Funds－アセアン・エクイティ・ファンド」は、必要に応じて株価連動債券に投資をすることがあり、その場合、投資資産として債券の投資比率が大きくなる場合があります。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

◎リスクの管理体制

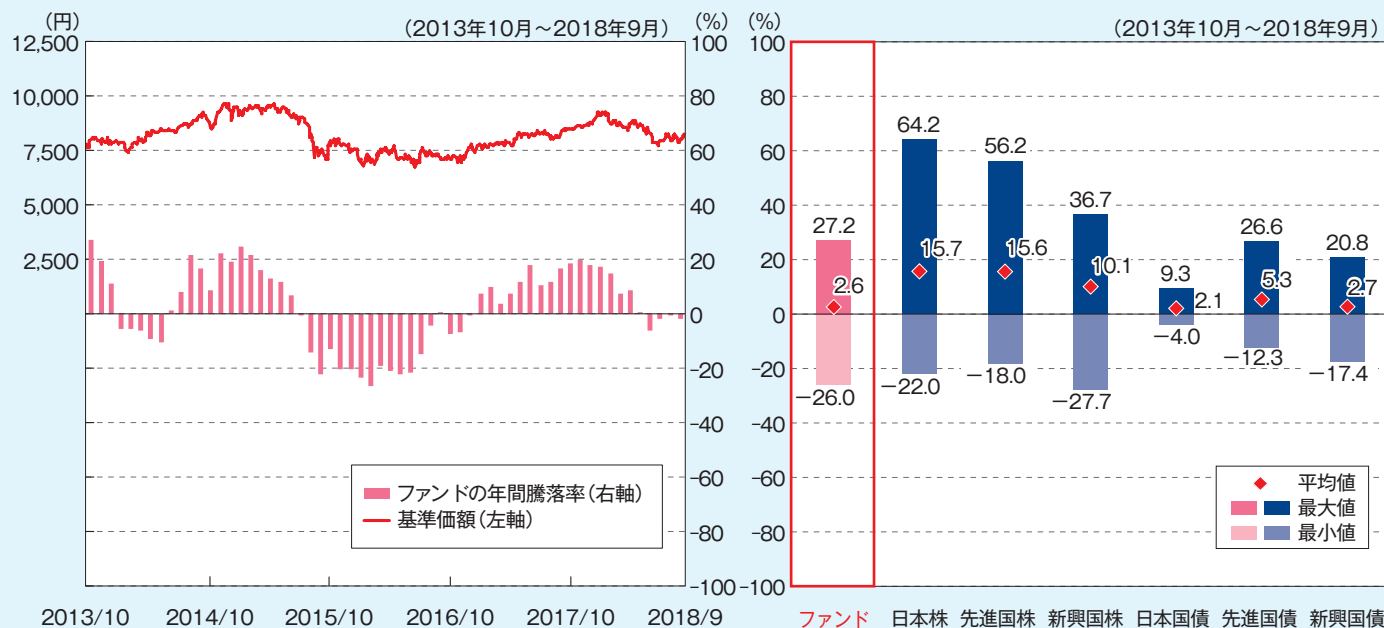
ファンドのリスク管理として、リスクマネジメント部は運用リスク全般の状況をモニタリング、運用パフォーマンスの分析および評価を行うほか、関連法規、諸規則および運用ガイドライン等の遵守状況をモニタリングしリスク委員会に報告します。コンプライアンス部は、重大なコンプライアンス事案についてコンプライアンス委員会で審議を行い、必要な方策を講じており、当該リスク管理過程については、グループの監査部門が随時監査を行います。

◆上記は本書作成日現在のリスク管理体制です。リスク管理体制は変更されることがあります。

(参考情報)

①ファンドの年間騰落率および基準価額の推移

②ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



*①のグラフは年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)および基準価額の推移を表示したものです。

*②のグラフは2013年10月から2018年9月までの5年間の年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

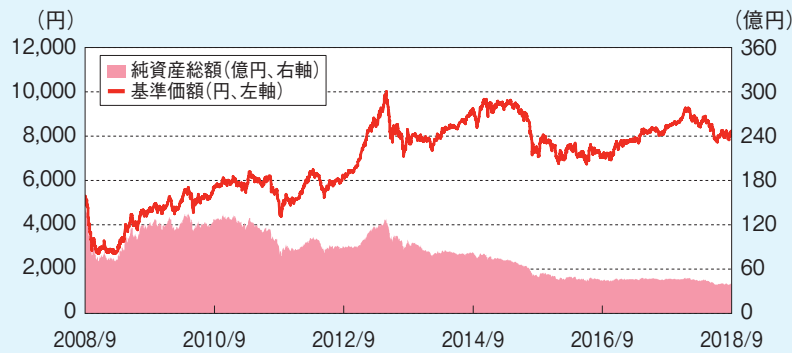
*②のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

○各資産クラスの指数について

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
東証株価指数 (TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。	
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)
MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。	
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)
MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。	
日本国債	NOMURA-BPI国債
NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。	
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。	
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)
JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

◎基準価額・純資産の推移



*基準価額の計算において信託報酬は控除しています。

基準価額	8,283円	純資産総額	40.5億円
------	--------	-------	--------

◎分配の推移

決算日	分配金(円)
19期(2016年9月15日)	0
20期(2017年3月15日)	0
21期(2017年9月15日)	0
22期(2018年3月15日)	0
23期(2018年9月18日)	0
設定来累計	0

*分配金は1万口当たり・税引前です。
*直近5期分を表示しています。

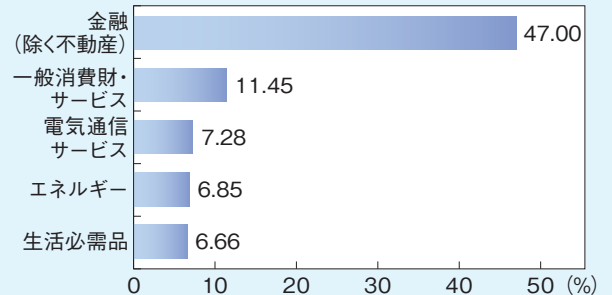
◎主要な資産の状況

◆資産配分

資産	比率(%)
JPMorgan Funds - アセアン・エクイティ・ファンド (Iクラス)	99.04
CAマネーブルファンド (適格機関投資家専用)	0.12
現金等	0.85
合計	100.00

*比率は純資産総額に対する割合です。
*四捨五入の関係で合計が100.00%とならない場合があります。
*現金等には未払諸費用等を含みます。

◆組入上位5業種 (JPMorgan Funds-アセアン・エクイティ・ファンド)



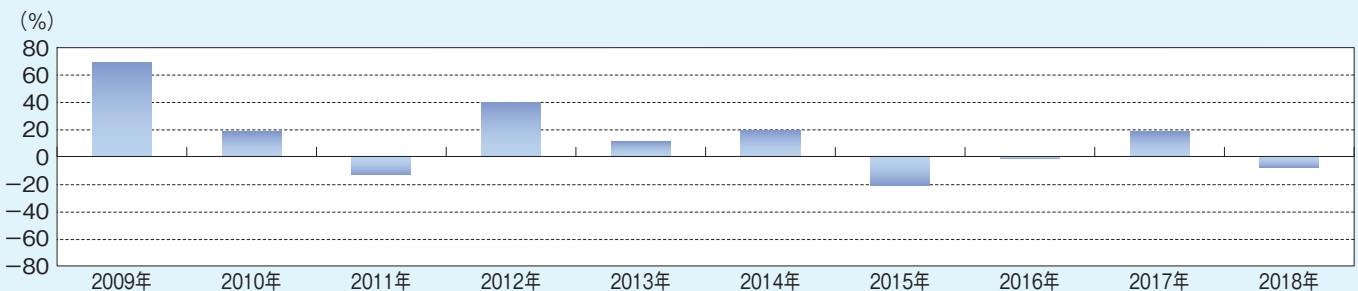
*比率はJPMorgan Funds-アセアン・エクイティ・ファンドの純資産総額に対する割合です。

◆組入上位10銘柄 (JPMorgan Funds-アセアン・エクイティ・ファンド)

順位	銘柄	国	純資産比(%)	順位	銘柄	国	純資産比(%)
1	DBSグループ・ホールディングス	シンガポール	7.11	6	パブリック・バンク	マレーシア	3.57
2	ユナイテッド・オーバーシーズ銀行	シンガポール	5.77	7	バンク・マンディリ	インドネシア	2.85
3	オーバーシー・チャイニーズ銀行	シンガポール	5.15	8	アヤラ・ランド	フィリピン	2.77
4	バンク・セントラル・アジア	インドネシア	4.78	9	アストラ・インターナショナル	インドネシア	2.73
5	シンガポール・テレコム	シンガポール	3.98	10	CPオール	タイ	2.62

*純資産比はJPMorgan Funds-アセアン・エクイティ・ファンドの純資産総額に対する割合です。

◎年間収益率の推移



*年間収益率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。
*ファンドにはベンチマークはありません。
*2018年は年初から9月末日までの騰落率を表示しています。

※上記の運用実績は、過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
※運用実績等については、表紙に記載の委託会社ホームページにおいて閲覧することができます。

手続・手数料等

◎お申込みメモ

購入単位	1円または1口を最低単位として販売会社が定める単位とします。 詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込 受付不可日	ルクセンブルクの銀行休業日あるいはシンガポールの祝休日のいずれかに該当する場合には、 受け付けません。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時 [*] までに購入・換金のお申込みができます。 販売会社により異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入の申込期間	2018年12月19日から2019年6月14日までとします。 申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、外国為替取引の停止その他 やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた 購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	無期限とします。(設定日：2007年5月18日)
繰上償還	委託会社は、ファンドの受益権の口数が10億口を下回った場合または信託を終了させることが 投資者のために有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託 会社と合意のうえ、信託期間を繰上げて信託を終了させることができます。
決算日	年2回決算、原則毎年3月15日および9月15日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年2回。毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 収益分配金の「再投資」を選択した場合、税引後無手数料で再投資されます。
信託金の限度額	1,000億円です。
公 告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	毎年3月および9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知っている受益者に 販売会社よりお届けします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

※上記所定の時間までにお申込みが行われ、かつ、それにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とさせていただきます。これを過ぎてからの申込みは、翌営業日の取扱いとなります。

◎ファンドの費用・税金

ファンドの費用

<投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。詳しくは販売会社にお問合せください。	
	料率上限 (本書作成日現在)	役務の内容
	3.24% (税抜3.0%)	商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。	

<投資者が信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	信託報酬の総額は、信託財産の純資産総額に対し 年率1.134% (税抜1.05%) を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。		
		(信託報酬の配分) (年率)		
		支払先	料率	役務の内容
		委託会社	0.30% (税抜)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
	販売会社	0.70% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	
	受託会社	0.05% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価	
		信託報酬は、毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。		
	投資対象とする投資信託証券	(年率)		
		料率	役務の内容	
JPMorgan Funds—アセアン・エクイティ・ファンド (Iクラス)		0.91%以内	信託財産の運用・管理等の対価	
CAマネーパールファンド (適格機関投資家専用)	0.378% (税抜0.35%)以内			
	実質的な負担の上限	純資産総額に対して 上限年率2.044% (税込)* *ファンドの信託約款に定める信託報酬 (年率1.134% (税込))に組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの (年率0.91%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。		
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用 (監査費用等を含みます。) ・信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税 (年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。			

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ◆公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、20歳未満の居住者などを対象とした同様の非課税措置（ジュニアNISA）もあります。詳しくは、販売会社にお問合せください。
- ◆法人の場合は上記とは異なります。
- ◆上記は2018年9月末現在の内容に基づいて記載しています。
- ◆税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

